



生駒の未来アプリ・アイデアコンテスト 結果発表

- IKOMA Civic Tech Award 2016 -

I Tによる市民活動「IKOMA Civic Tech Award 2016」として、プレイベント1回、講座（Civic Tech Party）5回を開催してきましたが、今年度の最終イベントとして「生駒の未来アプリ・アイデアコンテスト」を開催しました。「生駒の地域課題の解決」「生駒の魅力発掘・発信」をテーマに市内外からアプリ・アイデア併せて11の作品が寄せられ、各作品のプレゼンテーションの後、最終審査を経て下記のとおり結果となりました。コンテストの最終審査の前に、周知と啓発を目的に「市民アンケート」も行い、もっとも得票数のあった優れた作品に対して、コンテスト当日に表彰しました。

■ コンテスト結果

〔最終審査会審査結果〕

最優秀賞（アプリ）	賞金 10 万円	「4919forIkoma」	河中祥吾さん
アイデア部門賞	賞金 2 万円	「いこまちカレンダー」	「いこまの家族」さん

〔WEBアンケート結果〕

生駒の未来市民賞	アプリ部門	賞金 2 万円	「4919forIkoma」	河中祥吾さん
生駒の未来市民賞	アイデア部門	賞金 1 万円	「いこまちカレンダー」	「いこまの家族」さん

* アプリ、アイデアともW受賞となりました。

* 受賞作品の詳細については別添の資料をご覧ください。

* 最終審査会の審査員

一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表 福島健一郎さん
Code for Sapporo パパママまっぷチームリーダー 久保まゆみさん
奈良先端科学技術大学院大学総合情報基盤センター准教授 新井イスマイルさん
生駒市長 小紫雅史、地域活力創生部長、総務部長

■ 応募作品

応募期間 11月1日～2月10日

応募作品数 アプリ 5作品、アイデア 6作品

作品の詳細は、<https://ikoma-civic.tech/>

■ 市民アンケート

市内に在住、在勤、在学者を対象に、WEB（生駒市公式HP、IKOMA Civic Tech Award 2016 HP）にてどの作品が一番テーマにふさわしく、優れた作品であるかを投票していただきました。投票期間2月15日～3月2日。



最優秀賞 河中祥吾さん アイデア部門賞 いこまの家族さん

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市市民活動推進センター（所長 西野） ☎0743-75-6000

app No.5 : 4919for Ikoma



4919 for Ikoma

- 子供たちが毎日食べる給食から食育をサポート
- アレルゲンの含まれる献立は自動でお知らせ*

■ 献立表オープンデータ使用

■ 当日・当月それぞれで献立が確認可能

■ アレルゲンの管理



概要

子供たちが毎日食べる給食の献立がスマートフォンアプリで確認することができます。アレルゲン設定を行うことで、その日の給食にアレルゲンが含まれている場合に、自動で通知が行われます。

また、カロリーや栄養バランスといった子供の成長や体調管理に重要となる情報も表示され、子供の食育をサポートします。

その他、スマートフォンから気軽に確認できるため、誰しものが経験したことであろう昼ごはんや夜ご飯が同じメニューになることを防ぐ手助けにもなります。

アプリ動作環境

iOS8.2以降

テーマ（課題解決・魅力発信の2択）

生駒の課題解決

どのような課題を解決するか？（どのような魅力を発信するか？）

偏食化が進む現代において、子供たちの豊かな人間性をはぐくむため、国が推進している食育の普及を目指す。

また、続発している給食でのアレルギー事故を意識的に防ぐことに寄与することを目指す。

どのように解決するか？（どのように発信するか？）

生駒市が提供する献立表オープンデータを用いて、iOS アプリケーションを作成し、手軽に毎日給食の献立を確認できるように支援を行います。

また、アプリ内でアレルギーを登録することで、その日の給食にアレルギーが含まれる場合は自動的に通知を行い保護者から子供に忘れずに注意喚起を行えるような仕組みづくりを考えました。

最終的には、学校側が各生徒のアレルギーを一括管理できるシステムまで進展されることができれば、二重確認することができ、更にアレルギー事故を防ぐことに寄与できると考えています。

利用したデータ

献立表オープンデータ

その他アピールポイント

UI にこだわって作ってみました。

ロゴの食の字は Ikoma を組み合わせて構成されています。

他のコンテストへの応募実績

なし

応募者名

河中 祥吾

idea No.5 : いこまち カレンダー

「いこまちカレンダー」

スマホでサクサク知れる、生駒の楽しいイベント！！
今日も明日も、もっとみんなで生駒を楽しもう！

イベント開催を
手軽に分かりやすく
市民に発信！！



スマホでサクサク
生駒の
楽しいイベントを発見！！

「いいね！」で、
イベントの注目度が
分かる！！

プッシュ通知で
注目していたイベントに
忘れず参加！！

もっと、遊び、楽しみ、学ぶ街、 生駒へ！

概要

- ・手元にあるスマホで、生駒のイベントをサクサク知れるように「生駒のイベントカレンダーアプリ」を作成し、市民がより手軽に市内のイベントを把握できるようにして、参加しやすいようにする。
- ・載せる情報は、イベント情報に限定し、分かりやすさ、使いやすさを重視する。（余計な情報で盛りだくさんにしない。）
- ・載せるイベント情報は、生駒市の広報課で把握しているものとし、その情報をもっと分かりやすくオープンにする手段とする。
- ・イベント情報を載せる形式を、シンプルで分かりやすい形に統一し、運営者の手間をかけない。
- ・各イベントに興味がある場合は「いいね！」が付けられるようにする。
- ・「いいね！」ボタンにより、主催者側も開催するイベントへの市民の関心度を掴むことが出来る。
- ・「いいね！」をつけたイベントの開催数日前に、プッシュ通知が、スマホに通知されるようにする。
- ・参加したい市民も、プッシュ通知により、忘れずに予定を調整して、イベントに参加することが出来る。

- ・シンプルな応募フォームで、簡単にイベント参加申請も可能。

テーマ（課題解決・魅力発信の2択）

生駒の課題解決

どのような課題を解決するか？（どのような魅力を発信するか？）

- ・楽しいイベントが沢山あるのに、一部の市民しか楽しめていない。
- ・イベントの情報を知れるのが、ほぼ、広報「いこまち」を家で読んでいる時間に限られる。（家にいない時間が長い市民も多い。）

どのように解決するか？（どのように発信するか？）

- ・手元にあるスマホで、生駒のイベントをサクサク知れるように「生駒のイベントカレンダーアプリ」を作成し、市民がより手軽に市内のイベントを把握できるようにして、参加しやすいようにする。

どのような効果が期待できるか？

■市民

- ・生駒市内のイベント情報を（家にいなくても）手軽に掴みやすくなる！
- ・気になっていたイベントの開催日を忘れなくなり、参加する回数が増える。

■主催者

- ・自分たちが頑張って開催しているイベントが、もっと多くの人に知られ、参加してもらえるようになる。
- ・イベントの認知度や、関心度を把握しやすくなり、準備しやすくなる。

■行政

- ・市長や、市役所が知っている市民に知らせたいイベントを、もっとオープンに分かりやすく広報できる。
- ・もっと多くの市民が、生駒市内のイベントを楽しみに、街に出るようになり、生駒を楽しむ市民が増えて、生駒でお金が回るようになる。

利用するデータ

—

その他アピールポイント

—

他のコンテストへの応募実績

—

チーム名

チーム いこまの家族（小澤 晃広）